

豊明市立学校給食センター運営委員会 会議録  
「平成26年度第1回」

平成26年6月27日(金)午後3時30分第1回学校給食センター運営委員会は中央調理場会議室に招集された。

1 応召委員は、次のとおりである。

委 員：雨森 唯行	委 員：星子 恭士	委 員：市野 光信
委 員：木村 吉男	委 員：野田 一裕	委 員：福井 信夫
委 員：松澤 克美	委 員：大塚 康雄	委 員：杉山 恵理
委 員：中西 真奈美	委 員：岡本 律子	委 員：杉浦 陽子
委 員：横山 光恵	委 員：森 智美	委 員：太田 満
委 員：橋爪 直規		

2 出席委員は、次のとおりである。

委 員：雨森 唯行	委 員：星子 恭士	委 員：市野 光信
委 員：木村 吉男	委 員：野田 一裕	委 員：福井 信夫
委 員：大塚 康雄	委 員：杉山 恵理	委 員：中西 真奈美
委 員：岡本 律子	委 員：杉浦 陽子	委 員：森 智美
委 員：太田 満	委 員：橋爪 直規	

3 欠席委員は、次のとおりである。

委 員：松澤 克美	委 員：横山 光恵
-----------	-----------

4 会議事件説明のため出席を求めたものは次のとおりである

教育部長：加藤 賢司      学校教育課長：下廣 信秀

5 本会の事務に従事した者は次のとおりである

学校給食センター所長：石川 広

栄養調理場担当係長：平野 恭子      中央調理場事務：安藤 裕子

栄養士：深尾 直美      山田 武

6 本会事件は、次のとおりである。

議題

- (1) 平成25年度事業報告について
- (2) 平成26年度事業実施について
- (3) その他

事務局：会議について豊明市立学校給食センター運営委員会の公開に関する傍聴者について、「本市ホームページ」に掲載したところ、傍聴希望者はありません。

豊明市立学校給食センター運営委員会規則第7条第2項に基づき、過半数以上のご出席をいただいておりますので、本会議は成立します。

開会宣言      午後3時30分第1回学校給食センター運営委員会の開会を宣言。

## 1. 教育長挨拶

(挨拶要旨)

25年度より給食費の5%分の公費を投入し、行事食やバラエティランチなど、質の向上に取り組んでいます。また今年度はさらに3%の公費を追加投入し、消費税増税分を補い、給食費の値上げは行いませんでした。安全・安心な給食への取り組みとして、放射線の測定、地産地消などに取り組んでいます。機会があれば、ぜひ保護者の方にも豊明のおいしい給食を試食していただきたい。ホームページにレシピ紹介もあり、我が家ではポテトチップスサラダをつくったら好評でした。

## 2. 委員紹介

(新委員委嘱状交付)

代表して星子恭士委員に教育長から交付されたのち、委員一人ずつ自己紹介。小中学校長代表として雨森唯行様を会長に、小中学校PTA連絡協議会会長の星子恭士様を副会長に賛成多数により任命

## 3. 会長挨拶

(挨拶要旨)

学校は、給食のアレルギーに関して非常に気を配り、給食センターにおいてもアレルギー説明会などを行い、子どもが安心して食べられる状況をつくっていただけているのではないかと思います。安全・安心ばかりではなく、おいしい給食の提供が第一かなと思います。一人が「おいしい」と言って食べるとみんなが「おいしい」と言いますが、一人が「まずい」というとみんなが「まずい」と言い出すこともあるようで、心理的要素が大きく影響するようです。まず先生たちから「おいしいね、おいしいね」と言って食べましょうと先生たちには申しております。

## 4. 議事

(会長より議事進行)

議題(1) 平成25年度事業報告について

- 1) 事務局より資料「平成25年度事業報告」により説明
- 2) 栄養指導実施報告及び安全衛生に関する取組食育指導の説明

議題(2) 平成26年度事業実施について

事務局より資料「豊明の学校給食」により説明

- 1) 給食センターの概要
- 2) 平成26年度学校給食の基本方針
- 3) 平成26年度学校給食実施計画・事業計画

議題(1)(2)について

委員より 給食センターの施設自体がとても古くて心配ですが、建て替えなどの予定はないのでしょうか。

事務局より 市内の他の公共施設もかなり古いものがあり、今年度から市内の公共施設のアセットマネジメントに着手します。古い公共施設をどのように将来に残していくのかを考えていきます。例えば統合して1つに建て替えるのか、反対に全部なくしてしまうのかなど、今後の施設の方向性を今年度から3年かけて検討し、最終的な結論を出します。当然それには、市民の方々のご意見も踏まえながら取り入

れて考えていきます。

結論づけるのに3年のお時間をいただきますが、その間、衛生管理の面で絶対に事故があってははいけませんので、給食センター職員と調理員が進化する衛生管理に対応していくように日々努力してまいります。

- |       |  |
|-------|--|
| 委員より  | 今年度の献立作成目標は「おなかの中から元気になろう！食物せんい」となっていますが、食物繊維の摂取量の目標値はあるのでしょうか。  |
| 事務局より | 栄養摂取年間実績という数値がありまして、昨年度の給食1回あたりの食物繊維の摂取量の平均値は小学校が4.4グラム、中学校が5.3グラムとなっております。今年度は必ずその数値を上回るように、豆や海草を混ぜたサラダなど、食物繊維の多い食材を献立に取り入れています。あまり多く入れすぎて子どもたちから拒否反応が出ないように気をつけ、子どもたちの様子を見ながら苦手意識を植えつけないように、少しずつ量を増やしています。目標値は特に決めていませんが、昨年度摂取量よりも上回るようにしたいと考えております。                           |
| 委員より  | 今年度から牛乳の業者が変わったことにより、ケースも変わったため学校から問題が出ていたと聞いていますが、その後どうなったのでしょうか。   |
| 事務局より | 今年度から名古屋牛乳から中央製乳に変わりましたが、それにより牛乳のケースが今まで「20本入りしきりあり」のものが、「25本入りしきりなし」のものになりまして、学校の先生のほうから子どもが運ぶには重いということと、ビンが割れてしまうのではないかとという声が上がっております。それでなんとかできないかと中央製乳にお願いしたところ、今年後いっぱいかかって生産ラインを直して、来年の4月より「20本入りしきりあり」のケースに変わる予定ですと連絡がありました。今年度中は申し訳ありませんが、今使用しているケースで対応していただくよう、お願い申し上げます。 |
| 委員より  | 消費税が10%になったときに、給食費の値上げは考えていますか。  |
| 事務局より | 25年度からの段階的な公費投入について、24年度にその方向性をどうするかということで、保護者へアンケートをとり、運営委員会においても話し合いをしました。その結果、公費を3年間5%、8%、10%と段階的に導入することになり、2年目にあたる今年度は消費税増税の年にあたり、増税分3%は公費投入の3%増の分を充てて、給食費値上げは見送りました。よって物価が上がっていただければ昨年度と同じ質の給食を提供することができます。予定では来年10月より消費税が10%に上がると言われておりますが、3年目にあたる来年度は公費投入をさらに2%増の10%で市に予  |

算を請求するよう事務局は動いております。したがって来年度も消費税増税による給食費の値上げは見送る予定です。

全員異議なしにて承認。

## 5. その他

瀬戸保健所環境食品安全課長

春に特長的な食中毒の例がありましたので、報告いたします。ある家庭で野生植物をニラと間違えて、「焼きそば」の具として使用してしまい食して、食中毒症状を呈してしまった事件がありました。ニラと間違えたのは、観賞用として庭などで広く栽培されている「スノーフレイク」（鈴蘭水仙）でした。また水仙をニラと間違えた食中毒事件も2件報告されています。他にも春の野草採取による食中毒事件は、「バイケイソウ」や「ヒメザゼンソウ」の食中毒が報告されています。給食では野草の食中毒事件は関係ないかもしれませんが、食品を扱う者として、給食食材のチェックをされていると思います。ニラや他の野菜と間違える野草があり、食中毒を引き起こすことがあるということを知っておいていただけたらと思います。

閉会

16時45分閉会宣言

以上